

# PRUNUS

## プラナス フルエキゾーストシステム マットブラック仕様 組付・取扱説明書

適応機種  
YAMAHA BOLT (A) / R (A) (2014年～)  
(型式：EBL-VN04J)

この度は、当社製品をお買い上げ頂きありがとうございます。製品の取り付けに関しましては、この取扱説明書をよくお読みいただき、作業を行ってください。一度最後までこの取扱説明書をお読みいただきご理解いただきから作業されることをお勧めします。また、作業前に各付属部品がそろっているかご確認ください。製品の取り付けには、純正部品も使用しますので、取り外した各部品を紛失しないように保管してください。製品の品質には万全を期しておりますが、万一お気づきの点がございましたらお買い求めの販売店にご相談ください。なお、製品の仕様・価格・取扱説明書等に記載された内容は、予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

### 製品内容

No	部品名	数量
1	エキゾーストパイプ1 (U型)	1
2	エキゾーストパイプ2	1
3	サイレンサー	1
4	サイレンサー取り付けボルト/M10×40 P1.25	2
5	サイレンサープロテクター	1
6	エキゾーストパイププロテクター	1
7	プロテクター取り付けボルト/六角穴付きボルト M6×10	4
8	プロテクター取り付けボルト/六角穴付きボルト M6×16	1
9	プロテクター取り付けボルト用ガスケット	7
10	アルミスパーサー	2

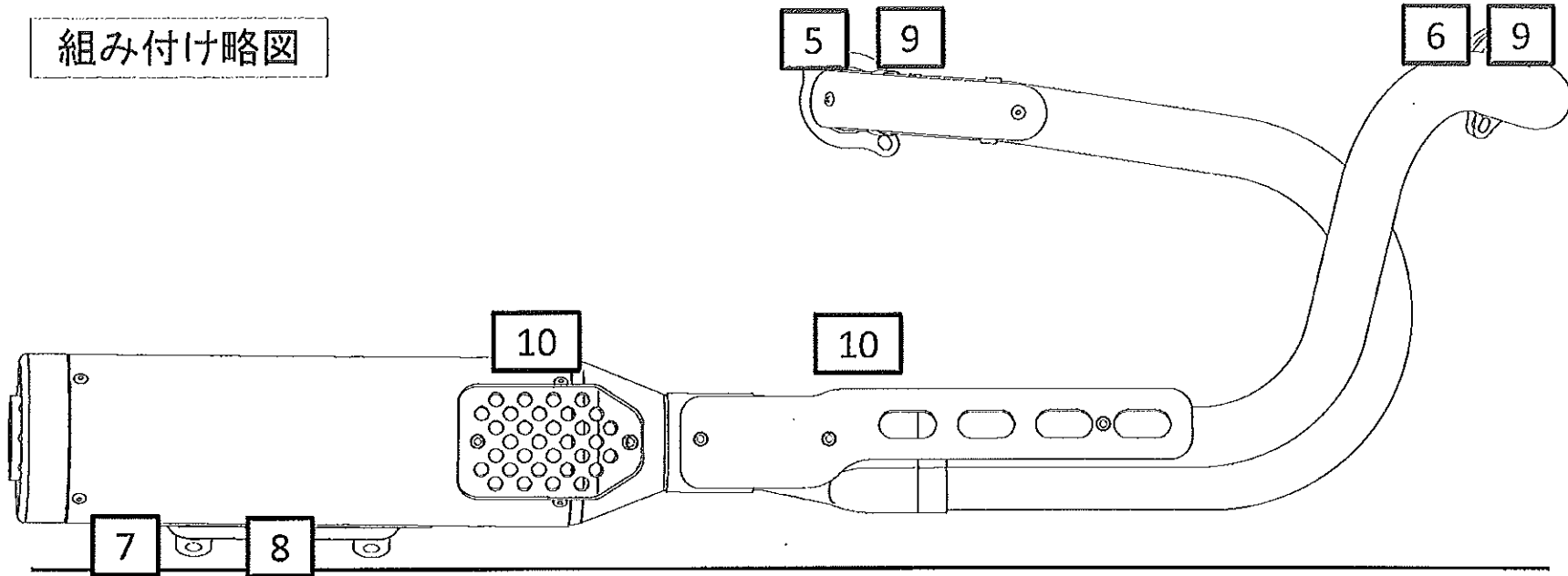
### 取り付け方法

- 02 センサーのカプラーを取り外します
- 純正サイレンサーを取り外します。(ボルト2カ所、バンド1カ所)
- 純正エキゾーストパイプを取り外します(ボルト2カ所、ナット2カ所)
- 02 センサーを純正サイレンサーから取り外し③サイレンサーに取り付けます。【規定トルク：45Nm(4.5kgfm)】
- ①エキゾーストパイプを仮止めします3で取り外したボルトを使用し仮付け止めます。この際、エキゾーストパイプガスケットは新品に交換してください。(ヤマ純正品番：3EG-14613-00)
- ②エキゾーストパイプを仮止めします3で取り外したナットを使用し仮付け止めます。この際、エキゾーストパイプガスケットは新品に交換してください。(ヤマ純正品番：3EG-14613-00)

- ③サイレンサーをエキゾーストパイプに差し込み、サイレンサー、ステーの間に⑨アルミスパーサーを入れ⑦フランジ付き六角ボルト M10×40P1.25 使用しサイレンサーを仮組みします
- サイレンサー取り付けボルトを本締めします。  
【規定トルク：M10ボルト 53Nm(5.3kgfm)】
- 仮止めしたエキゾーストパイプ取り付けナット、ボルトを本締めします。左右のボルトを均等に締め込んでください。締め過ぎはスタッドボルトの破損を招きますのでご注意ください。  
【規定トルク：13Nm(1.3kgfm)】
- 取り付け用ボス、プロテクターの間に⑨ガスケットを入れ⑦⑧六角穴付きボルトで取り付けます。(エキゾーストパイププロテクターの取り付け穴3つの内、中央の穴には⑧六角穴付きボルト M6×16 を使用し、⑨ガスケットを3枚入れて取り付けます。) プロテクターは必ず取り付けて下さい。
- 02 センサーカプラーを取り付けます
- エキゾーストパイプ・サイレンサーに付いた油分等のよごれを完全に拭き取ってからエンジンを始動し、排気漏れ等がないか確認してください。よごれが付着したままでエンジンを始動すると焼けムが起きます。エンジン始動後しばらくは、ウール・油分等が焼けて煙が出る場合がありますが、異常ではありません。

※ 本製品には耐熱艶消し塗装がしてあります  
艶消し塗料の為傷が大変つきやすくなっています取り付け時の扱いには  
ご注意ください  
エンジン始動後しばらくは塗料の焼きつく臭いや煙が発生しますが異常  
ではありません

## 組み付け略図



## 環境性能

平成22騒音規制適合

加速騒音値	77 dB
近接排気騒音値	92 dB

排出ガスWMTCモード クラス3-2

CO	1.609 ppm
HC	0.214 ppm
Nox	0.142 ppm
CO2	91 ppm

## 安全にご使用頂くための注意事項

この度は、当社製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。この製品の取り扱いに關しまして以下の注意事項を必ずご使用の前にお読みください。取扱説明書に反した使用により損害が発生した場合、当社はその賠償の責を負いません。また、取扱説明書は製品を破棄されるまでお手元に保管していただき、第三者に譲渡される場合は必ず取扱説明書もお渡しください。

### 警告！

この表示を無視し、誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表示してあります。

- 純正部品の取り外し、取り付けは車両製造メーカーのサービスマニュアルを参照し、各取り付けボルトおよびナットは、規定トルクを厳守し締め付けてください。ボルトおよびナットの破損、緩みの原因となり、部品の脱落等による怪我や死亡事故につながる恐れがあります。
- マフラー、エンジンは、始動中はもちろん停止後も非常に高温になります。駐車時は、他の人や動物が触れないように十分に車両周辺の状況をお確かめください。触れると火傷を負う恐れがあります。
- 火気等には十分に注意し、近くにガソリンや燃えやすいものなどは絶対に置かないでください。火災発生の原因になります。
- 十分に換気が行える場所で作業してください。締め切った車庫や倉庫の中で長時間にわたりエンジンを掛け続けると、排気ガスにより一酸化炭素中毒になる恐れがあります。
- 製品梱包のビニール袋は、手の届かない場所に保管するか、廃棄処分してください。子供や幼児がかぶったり吸い込んだりして、窒息の危険があります。
- 構造上最低地上高が低くなる場合があるため、マフラーを接地させるような無理な運転操作や、段差等でマフラーが擦らないよう注意してください。マフラーを擦るような無理な運転を行うと、転倒による怪我や死亡事故につながる恐れがあります。
- 法定速度を守り、安全運転をしてください。転倒による怪我や死亡事故につながる恐れがあります。

### 注意！

この表示を無視し、誤った取扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害を負う可能性が想定される内容を表示してあります。

- 水平な場所で車体を安定させてから作業を行ってください。作業中ホイルが倒れてけがをする恐れがあります。
- エンジン停止後は非常に高温になっておりますので、車体全体が完全に冷えきった状態で作業を行ってください。火傷を負う恐れがあります。
- 指定車以外への装着は行わないでください。また、製品の分解、加工、改造は行わないでください。製品の性能・機能が損なわれ、故障の原因となります。
- 製品取り付けの際は、作業前に取扱説明書をよく読んでから作業着・作業手袋等を着用し、適切な工具を使用し取扱説明書にしたがって作業を行ってください。
- 走行前には必ず点検を行い、ボルト・ナット類が緩んでいないか、マフラー周辺にガタがないかを必ず確認してください。また、マフラーと車体各部が干渉していないかを確認してください。
- 走行中に異常が発生した場合は、直ちに走行を中止し安全な場所に停車して異常箇所の点検を行ってください。
- 洗車時、マフラーに水を入れないでください。マフラーの中に水がたまると始動不良や排気の発生などの原因になります。

● 販売店

**サクラ工業株式会社**

静岡県浜松市東区半田町19番地

● 販売店 両方に該当するお問い合わせ

株式会社ワイズギア



0570-050814

〒432-8058 静岡県浜松市南区松原町1103番地 FAX.053-443-2187

〒432-8058 静岡県浜松市南区松原町1103番地 FAX.053-443-2187



VIA

H580937 - 1/5



# JAPAN VEHICLE INSPECTION ASSOCIATION

平成 26 年 1 月 9 日

## 自動車排出ガス試験結果証明書

一般社団法人 全国二輪車用品連合会 殿  
(サクラ工業株式会社)

一般財団法人 日本車両検査  
東京



自動車車名・型式 ヤマハ・EBL-VN04J

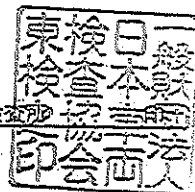
自動車車台番号(又はシリアル番号) VN04J-000331

標記試験自動車について実施した自動車排出ガス試験の結果は別添のとおりです。

二輪自動車排出ガス試験結果成績表(WMTCモード)

試験期日 H26.1.8

試験機関名 (一財)日本車両検査協会 東京検査部



◎試験二輪自動車

車名・型式(類別)	ヤマハ・EBL-VN04J	原動機型式	N605E	最高出力	38/5500	kw/min <sup>-1</sup>	車両クラス	3-2
車台番号	VN04J-000331	サイクル	4	気筒	2	総排気量	0.941	L
走行キロ数	160	km	変速機	足動 前進 5 段	減速比	2.333	車両重量	251
使用燃料	無鉛ガソリン	密度	—	g/cm <sup>3</sup>	(温度 — K)	最高速度	140以上	km/h
等価慣性重量(設定値)	330	kg	駆動輪のタイヤ空気圧	280	kPa			

◎試験成績書

○タイプI(モード測定)

排出ガス成分	パート1(又は低速パート1) 低温	パート1(又は低速パート1、 パート2、低速パート2) 高温	パート3(又は低速パート3) 高温	排出量
CO(NDIR)	3.040 g/km	1.167 g/km	1.063 g/km	1.609 g/km
HC(FID)	0.449 g/km	0.172 g/km	0.061 g/km	0.214 g/km
NOx(CLD)	0.095 g/km	0.097 g/km	0.280 g/km	0.142 g/km
CO <sub>2</sub> (NDIR)	119.6 g/km	78.1 g/km	88.2 g/km	91.0 g/km

○タイプII(アイドリング測定)

濃 度	
CO	HC
0.0 %	17 ppm

◎排出ガス対策装置

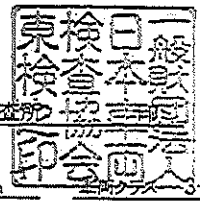
排出ガス対策装置	種 類 (個数)	三元触媒 ( 1 )	酸化触媒 ( )	E G R ( )	エアポンプ ( )	リットバルブ ( )	O <sub>2</sub> センサー ( 1 )
	製作者名	サクラ工業㈱	—	—	—	—	—



◎備考 最高速度はシャシダイナモメータ上にて確認

排出ガス対策装置は、サクラ工業㈱製“JMCA0790008”を装着し、試験を実施した。(依頼者の申告による)

WMTCモード(タイプI)試験結果



試験期日 H26.1.8

試験機関名 (一財)日本車両検査協会 東京検査所

◎試験二輪自動車

車名・型式(類別) ヤマハ・EBL-VN04J 原動機型式 N605E 最高出力 38/5500 kW/min  
 車台番号 VN04J-000331 サイクル 4 気筒 2 総排気量 0.941 L  
 走行キロ数 160 km 変速機 足動 前進 5 段 減速比 2.333 車両重量 251 kg  
 使用燃料 無鉛ガソリン 密度 — g/cm<sup>3</sup> (温度 — K) 最高速度 140以上 km/h  
 等価慣性重量(設定値) 330 kg 駆動輪のタイヤ空気圧 280 kPa

◎試験機器

シャッターモーター(DC/DY) 陽光電機 ACU-2 送風機(車速比例型) サワダエンジニアリング M1V24K-R3D1HM

◎排出ガス測定機器

排出ガス分析計 モード測定用 堀場製作所 MEXA-7400  
 CVS装置(CFV) 堀場製作所 CVS-7100 (採取量 6.3 m<sup>3</sup>/min)

◎ソーグ記録

ソーグ室内温度 (退室前6時間の温度) 最高 301.6 K ~ 最低 294.8 K 潤滑油温度(放置後) 295 K  
 ソーグ時間 17 時間(入室 7 日 17 時 00 分 ~ 退室 8 日 10 時 30 分) 冷却水温度(放置後) --- K

◎試験結果

○モード測定

運転開始時刻 10 時 40 分  
 試験室内乾球温度 296.0 K ~ 296.0 K 湿度補正係数(KH) 0.942  
 " 湿球温度 289.6 K ~ 289.6 K 排気管開口部静圧差 — kPa(50km/h)  
 " 相対湿度 52 % 試験室内大気圧 102.2 kPa  
 希釈率(DF) 27.070 希釈排出ガス量(Vmix) 15381 l/km 走行距離 4.066 km

パート1 (又は低速パート1)	排出ガス成分	希釈排出ガス濃度 A		希釈空気濃度 B		正味濃度 A-[B×(1-1/DF)]		排出量
低温	CO (NDIR)	171.49	ppm	1.10	ppm	170.43	ppm	3.040 g/km
	HC (FID)	53.79	ppmC	3.29	ppmC	50.62	ppmC	0.449 g/km
	NOx (CLD)	3.46	ppm	0.00	ppm	3.46	ppm	0.095 g/km
	CO <sub>2</sub> (NDIR)	0.472	%	0.049	%	0.425	%	119.6 g/km

希釈率(DF) 19.451 希釈排出ガス量(Vmix) 6853 l/km 走行距離 9.117 km

パート1 (又は低速パート1、 パート2、低速パート2)	排出ガス成分	希釈排出ガス濃度 A		希釈空気濃度 B		正味濃度 A-[B×(1-1/DF)]		排出量
高温	CO (NDIR)	148.03	ppm	1.29	ppm	146.81	ppm	1.167 g/km
	HC (FID)	46.92	ppmC	3.35	ppmC	43.74	ppmC	0.172 g/km
	NOx (CLD)	7.93	ppm	0.00	ppm	7.93	ppm	0.097 g/km
	CO <sub>2</sub> (NDIR)	0.669	%	0.049	%	0.622	%	78.1 g/km

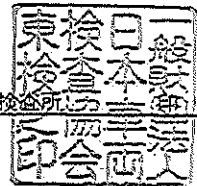
希釈率(DF) 10.386 希釈排出ガス量(Vmix) 3954 l/km 走行距離 15.737 km

パート3 (又は低速パート3)	排出ガス成分	希釈排出ガス濃度 A		希釈空気濃度 B		正味濃度 A-[B×(1-1/DF)]		排出量
高温	CO (NDIR)	233.09	ppm	1.33	ppm	231.88	ppm	1.063 g/km
	HC (FID)	30.16	ppmC	3.40	ppmC	27.10	ppmC	0.061 g/km
	NOx (CLD)	39.46	ppm	0.00	ppm	39.46	ppm	0.280 g/km
	CO <sub>2</sub> (NDIR)	1.264	%	0.050	%	1.218	%	88.2 g/km

◎備考



WMTCモード(タイプII)試験結果



試験期日 H26.1.8

試験機関名 (一財)日本車両検査協会 東京検査所

◎試験二輪自動車

車名・型式(類別) ヤマハ・EBL-VN04J 原動機型式 N605E 最高出力 38/5500 kW/min<sup>-1</sup> 車両クラス 3-2  
 車台番号 VN04J-000331 サイクル 4 気筒 2 総排気量 0.941 L  
 走行キロ数 160 km 変速機 足動 前進 5 段 減速比 2.333 車両重量 251 kg  
 使用燃料 無鉛ガソリン 密度 — g/cm<sup>3</sup> (温度 — K) 最高速度 140以上 km/h  
 等価慣性重量(設定値) 330 kg 駆動輪のタイヤ空気圧 280 kPa

◎試験機器

シャンダイモータ(DC/DY) 陽光電機製 ACU-2  
 送風機(車速比例型) サワダエンジニアリング製 M1V24K-R3D1HM

◎排出ガス測定機器

排出ガス分析計 アイドリング測定用 堀場製作所 MEXA-7400  
 CVS装置(CFV) 堀場製作所 CVS-7100 (採取量 --- m<sup>3</sup>/min )

◎試験結果

○アイドリング測定

スパークプラグ座温度 --- K 冷却水温度 --- K 潤滑油温度 379 K

原動機回転速度 (min <sup>-1</sup> )	吸気マニホールド 内圧力(-kPa)	測定濃度値(NDIR)			濃度補正值	
		CO	HC	CO <sub>2</sub>	CO	HC
1000	-----	0.0 %	17 ppm	15.0 %	---	---

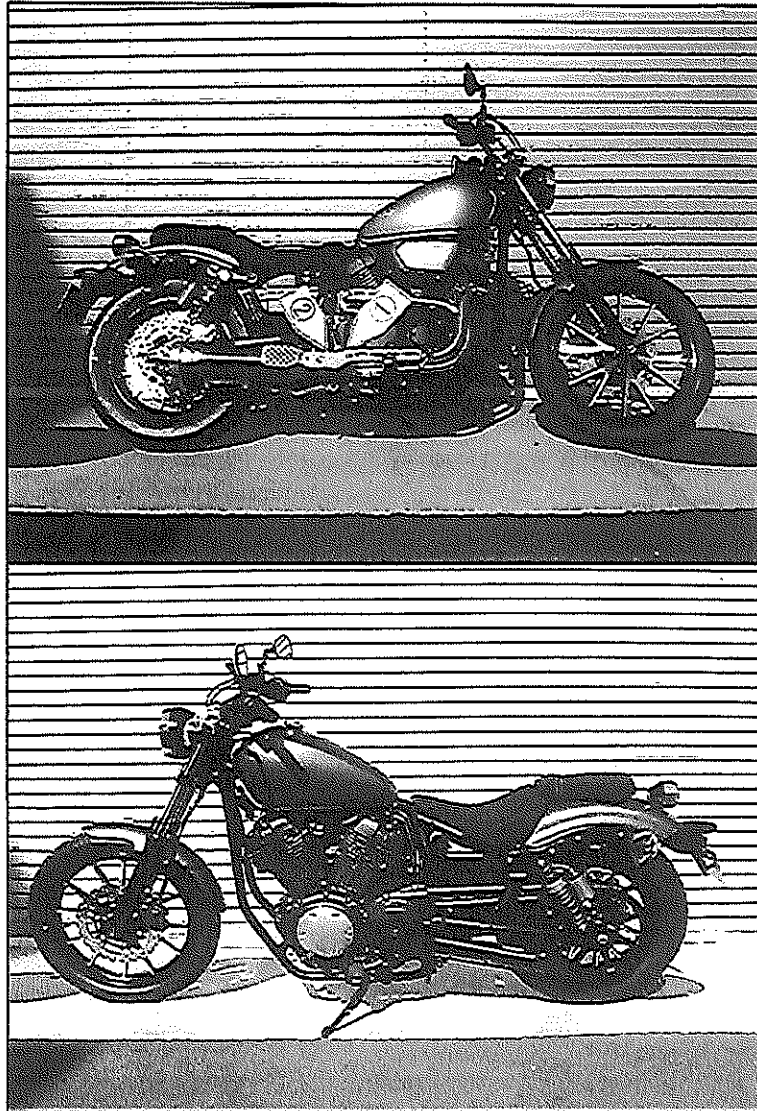


◎備考

試験車両の写真

車名・型式

ヤマハ・EBL-VN04J



- ①: センサー類
- ②: 触媒
- ③: DPF
- ④: EGR
- ⑤: 二次空気
- ⑥: その他

◎備考

一般財団法人  
日本自動車  
検査協会の  
印

(注) 本書(正本)の写しを作成する場合であって、当該写しが正本と相違ないことを証明する必要があるときには、写しにおける本欄に本書(正本)を所有している者が記名および押印するとともに、車台番号を記載して下さい。

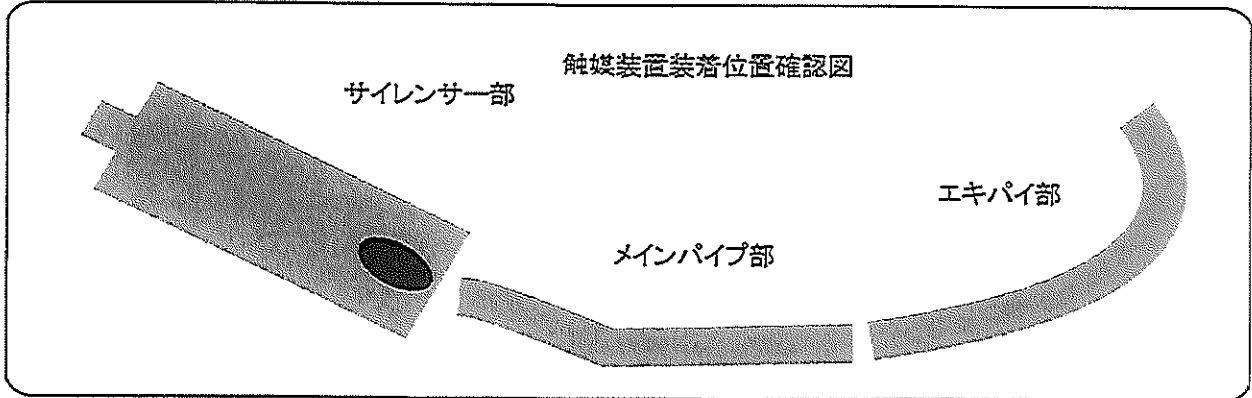
この写しは、正本と相違ないことを証明する。  
 サクラ工業株式会社  
 氏名又は名称 福岡県北九州市東区有馬 4-1-7  
 TEL 093(434)6008  
 車台番号 関 登 証 商 車 証 第 1000 (06)

(※:不明な場合には、必要とする自動車が決まった時点で記載する。)

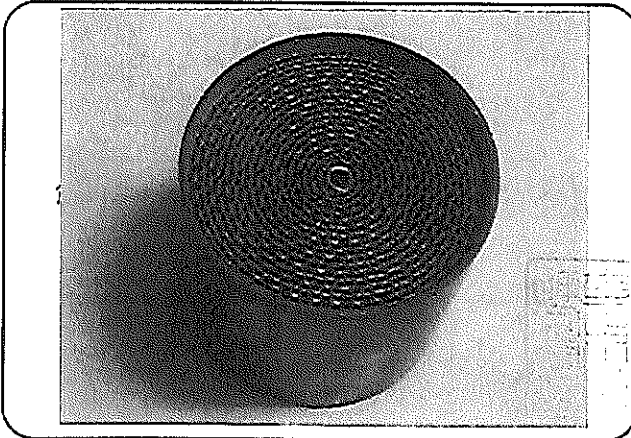


排出ガス対策装置装着状態確認書

自動車車名・型式	ヤマハ EBL-VN04J
排ガス試験成績書番号	H 580937
触媒装置メーカー名	サクラ工業株式会社
触媒装置名称	JMCA0790008
マフラーJMCA認定番号	



触媒装置単体写真



目視による排ガス対策装置の確認方法  
サイレンサー前方より目視

触媒の寸法 外径:  $\phi 64$   
長さ: 80

車両装着時写真



一般社団法人  
全国二輪車用品連合会  
〒107-0052  
東京都港区赤坂2-19-5  
TEL03-5545-7220